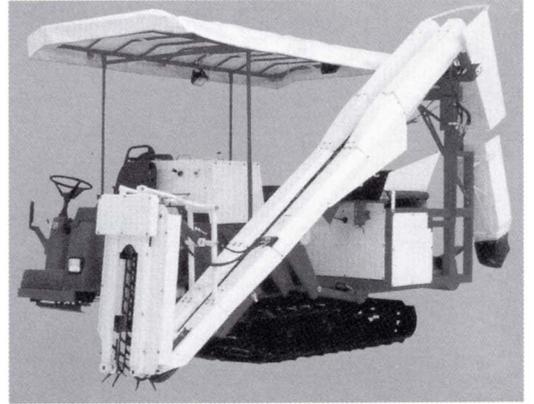


受賞者のご紹介 (敬称略)

振興賞 (株)南富自動車サービスエリア

重量野菜である大根の収穫作業は人力が中心であり、しかも多大な労働力が必要(10㍍当たり1日3人)である。近年では農業就労者あるいは収穫作業者の高齢化等、人力による収穫作業が困難になっている中で、機械化が遅れている現状に着目し、高能率な機械化による収穫作業の研究開発に着手した。平成13年6月より試行錯誤を繰り返し、平成14年3月に「大根ハーベスタ」としてモニター販売にこぎ着け、平成14年10月には「北海道立農業試験場」により農業機械性能調査を受け、大手農機具メーカーの「ヤンマー農機」で商品化となったことで販路が広がった。

開発機種は人力の3.5倍の収穫能力を有し、収穫作業の省力化と大根の安定生産に貢献しており、大企業が開発し得なかった、地域農業の生産状況を熟知している企業の研究結果と言える。



開発担当 長田 秀治

南富良野町字幾寅752番地

TEL 0167-52-2511 FAX 0167-52-2727

奨励賞 田島工業(株)マシナリー事業部

農業用水を主水路から分水路に分水する場合、分水路には一定の水深を確保し安定的に給水できることが望ましい。従来は油圧式、機械式等の転倒ゲートやチェックゲートの設置が必要とされ、転倒ゲートやチェックゲートは価格が高く、またオイル交換等の保守点検に多大な費用と手間がかかっていた。今回開発の「水位調整ゲート」は無動力で、機構もシンプルなため、既存の製品に比べ約 $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{4}$ の価格で提供が可能である。

機能的にも従来製品と遜色なく、比肩し得る他社の類似品もないため1年余で特許の取得が出来た。

農業人口の減少、高齢化が進展する一方、農業基盤整備の公共工事の縮減や水路の管理者である各地土地改良区の統廃合等、今後農業を取り巻く環境はますます厳しさを増しているが、高機能、低価格の本製品は農業の合理化、省人化に大きく貢献できる市場性も有している。



開発担当 灘本 紀昭

旭川市永山町7丁目

TEL 48-1235 FAX 48-1248